

クスリのアオキ(3398)



－ 積極出店で経費コントロールがカギに －

17日に発表されたクスリのアオキの上期(2015年5-11月期)決算は売上高が前年同期比2割増収の785億円、営業利益が同3割近い増益の47億円と大幅な増収増益となりました。売上高は積極出店に加え、食品や調剤が好調で既存店売上高が計画を上回って推移した会社予想を30億円上回って着地しました。

営業利益も会社予想から10億円近く上振れました。調剤の伸長や高付加価値品の販売好調、適正売価の見直しなどで粗利益率の改善する一方で、積極出店を進めているにも関わらず販管費比率がローコストオペレーションによる人件費コントロールなどにより前上期から改善し、会社計画を下回ったことが貢献しました。

北陸と甲信越を地盤とするクスリのアオキでは北関東と東海近畿といった新規エリアへの積極出店を進めています。このため前々期に33店舗、前期に40店舗だった新規出店は今期に52店舗となる予定で、上期も予定通り27店舗を出店しています。このため新規エリアでのこの上期の売上比率は17%近くまで上昇しています。

クスリのアオキでは上期の決算発表前の7日に通期業績予想を上方修正しています。売上高を1600億円から1640億円に、営業利益を76億円から87億円へと引き上げています。しかし、上期の営業利益が10億円近く上振れたことからすると下期の上方修正は小幅な修正に止まりました。これは積極出店で販促費や不動産比率の上昇を見込んでのものです。上期の販管費が計画を下回ったように下期も経費のコントロールがカギを握りそうです。

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、「[リスク・手数料などの重要事項に関する説明](#)」をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会